



福間南小学校防災学習

万が一に備えることの大切さ

ふくつ防災士の濱秀樹さんを講師に迎え、福間南小学校5年生を対象とした防災学習を9月21日に開催しました。

メイン会場と各教室をオンラインで結び、濱さんはスライドを使いながら、災害が起こる前に備蓄品を準備しておくこと、家の周りの危険な場所や避難場所を家族で確認しておくことなどの大切さを、自身の経験も踏まえて話していました。



◀熱い眼差しで防災の重要性を児童に話す濱さん

全国消防救助技術大会出場に伴う展示訓練

命を救う技術を磨き続ける

各地の支部代表が消防救助技術を披露する全国消防救助技術大会が、東京都立川市で行われるのに合わせて、8月24日に宗像地区消防本部で展示訓練を開催しました。

九州支部の代表として、宗像支部からは「はしご登はん」に1人と「ロープブリッジ救出」に2チーム出場しました。同じ種目に2チーム出場するのは、宗像支部では初めてだそうです。8月26日に行われた全国大会では、九州支部の代表として、素晴らしい技術を披露してくれました。



▲本番さながらの真剣さでロープを渡っていきます

ドッジボール日本代表に選出

心おどる瞬間を求めて

福間南(原町)出身の森美月さんがドッジボールのマルチボール種目日本代表に選出されました。

マルチボールとは、コート内で布製5個のボールを使い、男女混合カテゴリーなどで戦うドッジボールです。ボールを投げる腕力も大切ですが、何よりもボールが多くなることで、戦術が重要となり、試合中のチーム内での声掛けや意思疎通などのチームワークが大切になります。

「ボールをキャッチした瞬間が一番心がおどる」と、うれしそうに話してくれた森さん。12月にエジプトのカイロで開催されるワールドカップに出場します。

▶ボールを手にドッジボールの面白さを語る森さん



ふくつビーチサッカーフェスティバル2022

3年分の気持ちを込めて

ふくつビーチサッカーフェスティバル2022が、8月20日と21日の2日間、津屋崎海水浴場で開催されました。

平成11年から続いているスポーツイベントで、今年で22回目を迎える大会です。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となり、主催者や参加者は久々の大会を待ちきれない様子でした。

サッカーやフットサルでは見られないようなアクロバティックなプレーが次々と飛び交い、会場は大いに盛り上がっていました。



▲海岸清掃も行い、きれいな砂浜の感触をかみしめていました

福間中学校サッカー部が2年連続九州大会出場

また次の舞台へ

中学校の部活動の集大成「県中学校総合体育大会」が7月28日から3日間にわたって開催され、福間中学校サッカー部が準優勝しました。福間中学校サッカー部は昨年の同大会で優勝しており、2年連続での九州大会出場を果たしました。

残念ながら九州大会では敗退し、全国大会出場は逃しましたが、新主将となった真鍋愛十さんは「もうすぐ新人戦が始まるので、先輩たちを超えられるよう頑張りたい」と、次の大会に向けた抱負を話してくれました。



▶懸命にボールを追いかける真鍋さん



かわさき
川崎 はなちゃん 宮



おおやま
大山 莉奈ちゃん 南



おかもと
岡本 悠之心ちゃん 福



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限りま

す。データの持ち込みは受け付けられません。
毎号先着24人で、1月生まれの赤ちゃんは11月18日(金)が受付期限です。

受付、問い合わせ 市子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム





認知症当事者の話を聞いてみませんか 伝えることで深める理解

認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくためにはどうしたらよいか考える機会をつくろうと、地域包括支援センターが主催する認知症講座が9月21日に市立図書館で開催されました。

参加した12人は、若年性アルツハイマー型認知症と診断された人のインタビュー動画を見たり、身近な人に起きた認知症にまつわる話をグループで共有したりして認知症に関する理解を深めました。また「認知症の姉との病床での会話」「物忘れがひどくて心配な80代の夫」など、同じような境遇で認知症の問題を抱える人同士、熱心に語り合いました。

▶身近で起きた経験をグループで共有する参加者



宮地嶽神社秋季大祭

久しぶりの御神幸行列

五穀豊穡、開運を祈願する秋の祭りで、多くの観光客が集まる宮地嶽神社の秋季大祭が、9月21日から9月23日にかけて開催されました。

宮地浜から宮地嶽神社までを練り歩く御神幸行列は9月23日に行われ、今年の祭王は、朝の情報番組のお天気コーナーでおなじみの山下七子さん。

コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となり、沿道では多くの人が行列を見守っていました。



100歳を祝う慶祝訪問

これからもより一層お元気で

市内には9月時点で今年度100歳を迎える人が33人います。

今年度100歳を迎える市民を市長が訪問する慶祝訪問を、9月22日に行いました。対象者には、国と県それぞれから祝い状、市からは福津産の花束を贈呈しました。

毎回の食事の準備はもちろん、後片付けまでこなすという梅本年子さんは、来年1月に100歳を迎えます。元気の秘訣を尋ねると「何でも食べることです」と笑顔で話してくれました。



▲記念撮影に応じる梅本年子さん(左)

◀沿道の観客に手を振る山下さん

ハッピードリームサーカス福岡・福津公演 希望と元氣と感動を

ハッピードリームサーカス福岡・福津公演がイオンモール福津の駐車場で9月23日から始まり、11月28日(月)まで開催されています。9月23日にはオープニングセレモニーが開催され、市内で活動するカメラ吹奏楽団福津による演奏やテーブルカットが行われました。

大きな特設テントにはほぼ満員の観客が集まり、人間業とは思えない演技の数々に歓声や拍手が飛び交っていました。中には手を引かれてステージに招かれ、一緒に会場を盛り上げる人もいました。



▲いくつものフラフープをうまく操るパフォーマー

▶楽しくクイズに参加する親子と、笑顔で対応する福岡女子大学の学生

ふくつ うまっ(美味しい)カリッ(ウム) DAY 知って欲しいカリウムのチカラ

カリウムが多く含まれている野菜や果物のチカラを見直してほしいと、8月21日にイオン福津店で「ふくつ うまっ(美味しい)カリッ(ウム) DAY」を開催しました。

「体にやさしい栄養の話」や福岡女子大学の学生が考えた楽しみながら学べる「野菜・果物クイズ」「適塩調味料」を展示。参加者は1,000人を超え「カリウムの働きは知らなかった」「続けて開催してほしい」と大好評でした。また、イオン福津店に協力してもらい、適塩食品コーナーを常設しています。



第41回シーガルカップ & 第9回福津 SUP選手権

「西の湘南」で3年ぶりのマリンスポーツ大会

小雨が降る福間海岸で「第41回シーガルカップ」と「第9回福津 SUP選手権」が9月17日に開催されました。小学生から最高齢83歳のかたまで、約100人が大会に参加しました。

マリンスポーツを普及しようと長年にわたり大会を開催してきた、有限会社ミズベフィット代表取締役の門谷千秋さんは「ウィンドサーフィンとスタンドアップパドルボードの大会を同時に開催できるのは福間ならではの」と、かつて「西の湘南」と呼ばれた福間海岸の環境の素晴らしさを語りながら、3年ぶりに大会を開催できたことを喜んでいました。

▶ボードを抱え海に向かって駆け出す選手たち

